

平成 27 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 芹澤知広

最終学歴	大阪大学大学院博士後期課程修了	
取得学位	博士(人間科学)	
所属学会	日本文化人類学会、「宗教と社会」学会、日本華僑華人学会、日本うどん学会、観光学術学会、東南アジア学会	
専門分野	文化人類学	
研究課題	東アジア・東南アジアの都市人類学、華僑・華人の歴史的・民族誌的研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワーク概論(前期) ・文化人類学(後期) ・社会調査実習(通年) ・演習(通年)
	大学院修士課程担当科目(博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会文化研究演習(通年) ・応用人類学特論(通年)
	大学院博士後期課程担当科目	
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・文化人類学
【研究上の特記事項】	平成26年度～28年度科学研究費・基盤研究(B)「中越国境地域の市場に見る民族間交流とエスニシティの文化人類学的研究」研究代表者、平成24年度～27年度科学研究費・基盤研究(B)「20世紀アジアの国際関係とインドネシア華人の移動」研究分担者。平成25年度～27年度科学研究費・挑戦的萌芽研究「文化人類学における文化的ビジネス・スキル開発のための調査研究」連携研究者。	
【教育上の特記事項】	演習クラスにおける学外授業1回(国立民族学博物館)、社会調査実習クラスにおける学外授業2回(奈良町資料館、奈良県立図書館)を実施。地域連携教育研究センター事業の主担当者として課外に学生を指導し、年度末に奈良大学図書館にて事業成果公開のための展示を準備。「社会調査実習(二)」調査成果報告書編集・印刷。	
【社会的活動】	国際学術雑誌『歴史人類学刊』(中国、中山大学・香港科技大学発行)日本地区連絡人。日本華僑華人学会理事・財務委員会委員長。山の辺文化会議理事。市民講座講師3回(奈良市1回、天理市2回)。	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	「世界遺産学概論」世話人。地域連携教育研究センター運営委員。全学教務委員会委員。人権委員会委員。博物館委員会委員。社会学部海外研修旅行検討委員。	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
(学術論文)				
①				
②				
③				
(学会発表)				
①「香港の新聞『大公報』再読：1959年から61年にかけての記事から見たインドネシア華人」	単独	平成27年6月	東南アジア学会関東例会	「シンポジウム：インドネシアと香港のメディアにみられるインドネシア華人の『帰国』」のなかで、香港のメディアに報道されたインドネシア華人の中国帰国について報告した。
②「Votive Money in Hanoi: an Object on the Border between China and Vietnam」	単独	平成27年7月	International Convention of Asian Scholars (ICAS9)	オーストラリア・アデレードで行われた国際会議の分科会「Resilience: A perspective toward contemporary Asian societies」のなかで、中国とベトナムの国境をこえる物質文化の交流について報告した。
③「Four Chinese Religious Facilities in Chau Thanh County, Tra Vinh Province, Vietnam」	単独	平成27年8月	International Conference on the Religious Facilities of the Ethnic Chinese (Hoa) people in Tra Vinh Province	ベトナム・チャビン大学で行われた国際セミナーにて、2012年と2013年にチャビン省で行った共同調査の成果の一部を報告した。
④「チャウタン県の関帝廟の盂蘭盆に見る華人の文化変容」	単独	平成27年11月	日本華僑華人学会 2015年度研究大会	大会企画分科会「ベトナム国チャビン省華人宗教施設調査報告」のなかで、2012年と2013年にチャビン省で行った共同調査の成果の一部を報告した。
⑤				
(その他)				
①				
②				
③				